

『欽形蕙斎画 近世職人尽絵詞 江戸の職人と風俗を読み説く』  
正誤表

- 1 (9) 頁下段「凡例」3・1  
(誤)「国立国会図書館模本各巻の箱の蓋裏側に貼り付けた紙」  
↓(正)「端作り(見返し)部分に貼り付けた紙」
- 2 97頁下・13【画中詞10】  
(誤)「つき江戸にいかしたたら」↓(正)「多と」
- 3 109頁上・5上段【詞書2】-3行目  
(誤)「小松石の書き誤り。」↓  
(正)削除 (「小松原御丁場」が存在する。)
- 4 111頁上・8下段【画面】1行目  
(誤)「魚を載せた白木の台(下部に樽を置いて支える)」↓  
(正)「板舟」(魚を載せた白木の台。下部に樽を置いて支える)
- 5 113頁上・10上段【画面】1行目  
(誤)「仁王像の腕を脚立に乗って仕上げる」↓(正)「腕の細部を：彫る」
- 6 118頁上・15下段【画中詞2】1行目  
(誤)「記されている」↓(正)「記されている。」
- 7 124頁中・3下段【画面】10行目  
(誤)「若衆」↓(正)「通人風の人物」
- 8 152頁下・10上段【画面】1行目  
(誤)「秋八月頃」↓(正)「夏六月末」
- 9 同右下段【画中詞4】5行目  
(誤)「繁昌した」↓(正)「繁昌する」

本「正誤表」と重なる内容は、『四季交加』別冊附録(文責)大高洋司「『四季交加』・『近世職人尽絵詞』注釈補正―延広真治氏のご指教など―」、太平書屋、二〇一九・一二)にもやや詳細に掲載されている。併せてご参照いただければ幸いです。

(編集代表…大高洋司・小島道裕・大久保純一 文責大高)